

## 令和6年度 学校評価アンケート（年間評価）結果について

### 1. 生徒アンケート集計と分析

**生徒**

質問項目	重要度	実現度
係やそうじ、委員会の仕事をしっかりできている。	6.4	5.9
友だちに嫌な思いをさせないようにしている。	6.6	5.8
家族と過ごす時間を大切にしている。	6.3	5.8
先生や友だちから大切にされていると感じている。	6.2	5.5
学校の決まりや約束事を守っている。	6.1	5.5
礼儀や言葉遣いに気をつけている。	6.4	5.4
授業に必要な準備をし、前向きに授業に参加している。	6.3	5.4
学校に行くことが楽しい。	6.3	5.4
困ったことは、先生や家族に相談している。	6.1	5.1
自分から進んであいさつをしている。	6.2	5.1
早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活が出来ている。	6.4	5.0
学校からの配布物を保護者に渡している。	6.3	4.9
家の手伝いをするなど、家族の一員としての役割を果たしている。	6.0	4.9
授業の内容がよくわかる。	6.4	4.9
将来の夢や目標を持っている。	5.9	4.5
スマホ、タブレット、ゲーム等の使い方や時間について、ルールを決めて使用している。	5.4	4.2
平日、課題の取組や家庭学習(塾や家庭教師の時間を含む)に、平均して1日1時間以上取り組んでいる。	5.7	4.0
学校がいじめに対して取り組んでいることを知っている。	6.0	3.9
いじめなどで困った時に相談できる「いじめ対策委員会」が学校にあることを知っている。	5.9	3.7
1日平均30分以上(朝読書を含む)読書をしている。	4.7	2.6

※実現度が高い項目の順に上から並べてあります。

○数値の計算方法について

重…重要度 実…実現度

重要度「とても重要である」…7「やや重要である」…5「あまり重要でない」…3 「重要でない」…1

実現度「とても出来ている」…7「やや出来ている」…5「あまり出来ていない」…3「出来ていない」…1

アンケートのご協力ありがとうございました。

今回の講評に関しては、1学期末に行った中間評価との比較となります。

まず、生徒アンケートの結果ですが、「重要度」「実現度」共にほとんどの項目で数値が上がっていることに一定の評価を感じます。特に学習面に関する数値が上がっています。3年生の受験への意識の高まりが実現度の上昇に影響していると考えます。「平日、平均して1日1時間以上学習に取り組んでいる」という設問に対して「中間評価」では、実現度 3.6 p だったのに対し「年間評価」では 4.0 p と 0.4 p 上昇しています。3年生だけでなく、1, 2年生も合わせて、年間を通して「重要度」「実現度」共に高い水準でいることを目標としていかなければいけないと思います。そのための働きかけが、今後の課題と考えます。その他、実現度の変化でいうと「スマホ、タブレット等の使い方や時間についてルールを決めている。」という設問に対しても「中間評価」実現度 3.9 p から 4.2 p と「年間評価」では上がっています。学習への意欲と関係しているのか、使用について「自主規制」をしているように思われます。こういった数字を基に考えても総合的に判断し、スマホやタブレットの使用と学習とのかかわりは大いにある事が予想されます。

学校生活に目を向けると「困ったことは、先生や家族に相談している。」という設問で「中間評価」の実現度 4.9 p に対し「年間評価」では 5.1 p と上がっています。アンケート実施が2学期末という事もあり、学校にも慣れた生活の中で、教師との関係が構築された結果かと思われます。ただ、話す内容が増えている。言い換えれば困りごとが増えているとも捉えられます。学校としては、相談しやすい環境を構築するために寄り添う時間を大切にしなければいけないという数値だと捉えていきたいです。見逃しの無い関りを続けていければと思います。

## 2. 保護者アンケート集計と分析

**保護者**

質問項目	重要度	実現度
子どもに、友だちを大切にするよう働きかけをしている。	6.7	5.5
子どもに、決まりや約束事を守るよう働きかけをしている。	6.7	5.2
家族で過ごす時間を大切にしている。	6.4	5.2
子どもは楽しく学校に通っている。	6.7	5.1
子どもが、先生や友だちから大切にされていると感じている。	6.6	5.1
子どもに、礼儀や言葉遣いに気をつけるよう働きかけをしている。	6.6	4.9
学校からの配布物やホームページ等で、学校の様子が伝わってくる。	6.2	4.8
子どもに、自ら進んであいさつするよう働きかけをしている。	6.5	4.7
子どものことについて、保護者が学校に相談しやすい雰囲気がある。	6.3	4.7
子どもに、授業に集中して取り組むように働きかけをしている。	6.5	4.6
子どもが早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活ができるよう働きかけをしている。	6.6	4.6
子どもが学習内容をどの程度理解しているかをテスト結果や家庭学習などを通して把握しようとしている。	6.3	4.5
子どもに家族の一員としての役割（家の手伝いなど）を作るようになっている。	6.0	4.3
学校行事や授業参観、PTA活動等に積極的に参加するようになっている。	5.0	4.1
子どもが将来の夢や目標を持っている。	6.0	4.0
子どもに、家庭学習（塾や家庭教師の時間を含む）の習慣が定着するよう働きかけをしている。	6.1	3.9
子どものスマホ、タブレット、ゲーム等の使い方や時間について、ルールを設定している。	6.1	3.8
いじめなどで困った時に相談できる「いじめ対策委員会」が学校にあることを知っている。	6.4	3.6
学校いじめの防止等基本方針があることや、いじめに対して取り組んでいることを知っている。	6.4	3.4
子どもに、読書の習慣が定着するよう働きかけをしている。	5.6	2.8

※実現度が高い項目の順に上から並べてあります。

○数値の計算方法について 重…重要度 実…実現度

重要度「とても重要である」…7「やや重要である」…5「あまり重要でない」…3「重要でない」…1

実現度「とても出来ている」…7「やや出来ている」…5「あまり出来ていない」…3「出来ていない」…1

アンケートへのご協力ありがとうございました。

今回のアンケートでも「読書」への意識が低く、生徒のアンケート結果からも読書離れが危惧されます。ここ数年の保護者アンケートでも「読書の習慣が定着するように働きかけている。」という設問に対し実が3.0p以下が続いています。読書をする環境がより減ってきてていることが推測できます。学校でも昼休みの図書館来館者が減っています。図書館での授業を企画するなど校内での工夫は続けています。また今後は、図書委員会の活動を利用し、本と触れ合う機会を増やせればと考えます。

次に、今年度よりアンケート項目に追加した「将来の夢や目標を持っている。」という設問について、生徒・保護者共に重は6.0p前後、実は保護者4.0p、生徒4.5pと比較的低い数値となっています。多様化するこれからの社会で活きていく生徒にとって将来、「何になりたいか」「どんな大人になりたいか」を持てるることは、大切なことだと考えます。今後は、キャリア教育の中で、地域の方々の講話を聴くなど自らの将来について考え、実現できるスキルを身につけられる働きかけを進めていきたいと思います。

最後にスマートフォンやSNSについてです。今年度もSNSに係るトラブルは多くありました。画像の投稿や書き込みからのトラブルが多くありました。「スマホなどの使い方や時間にルールを決めている。」の設問に対して実は3.8pと低くなっています。社会問題まで膨れ上がっている「闇バイト」などSNSの問題について学校・家庭と手を取り合って予防を進めていければと思います。

今年度も残り数か月となっていましたが、アンケートの結果や自由記述で頂いたご意見を今後の教育活動に活かせればと思います。安全・安心な学校を目指し、改善していきます。今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いします。